



## コショウを吸<sup>す</sup>うと、くしゃみが出<sup>で</sup>るのはなぜ

鼻<sup>はな</sup>の中<sup>なか</sup>に入りこんだもの<sup>はい</sup>を、外<sup>そと</sup>に出<sup>だ</sup>そうとするため

くしゃみは、鼻<sup>はな</sup>の内側<sup>うちがわ</sup>のねん膜<sup>まく</sup>（湿<sup>しめ</sup>ってぬるぬるしたうすい膜<sup>まく</sup>）にしげき<sup>くわ</sup>が加<sup>くわ</sup>わると、自分<sup>じぶん</sup>がしたいと思<sup>おも</sup>わなくても、自然<sup>しぜん</sup>に勝手<sup>かっぺ</sup>に出<sup>で</sup>てしまうものです。

これは、体<sup>からだ</sup>が、鼻<sup>はな</sup>の中<sup>なか</sup>に入りこんだもの<sup>はい</sup>を、外<sup>そと</sup>に出<sup>だ</sup>そうとするはたらきで、コショウを吸<sup>す</sup>うと、そのはたらきのためくしゃみ<sup>で</sup>が出るのです。

## コショウが、なぜ、特別<sup>とくべつ</sup>なのかはわからない

人間<sup>にんげん</sup>は、呼吸<sup>こきゅう</sup>をしながら、たくさん<sup>はな</sup>のほこりを鼻<sup>す</sup>から吸<sup>す</sup>いこんでいます。たとえば、風<sup>かぜ</sup>の強い日<sup>つよ</sup>などには、たくさん<sup>ひ</sup>のすなぼごりを吸<sup>す</sup>っているはずですが、そのようなときでも、しょっちゅうくしゃみ<sup>で</sup>が出るわけではありません。ところが、コショウ<sup>す</sup>を吸<sup>す</sup>いこんだときには、必<sup>かなら</sup>ずとい<sup>い</sup>っていいほど、くしゃみ<sup>で</sup>が出<sup>で</sup>ます。この二つに、どんなちがいがあるのでしょうか。おそらく、コショウ<sup>なか</sup>の中<sup>なか</sup>に、特<sup>とく</sup>にくしゃみ<sup>はい</sup>を引き起<sup>お</sup>こす、何<sup>なに</sup>かが入<sup>はい</sup>っていることが考<sup>かんが</sup>えられるのですが、今<sup>いま</sup>のところ、よくわかっていないのです。（監修・保志 宏）

